

「今こそ地域診断」 既存統計資料を活用した地域診断

公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター

柳川 洋 吉葉かおり 嶋田雅子
野藤 悠 阪本康子 保科ゆい子
中村正和

埼玉県立大学保健医療福祉学部

若林チヒロ 笹尾久美子 新村洋未

はじめに

ヘルスプロモーション研究センター(以下ヘルプロ)は、自治体と協働して、生活習慣病や介護の予防活動に取り組んでいる。地域診断は効果的な事業を検討する上で必須であり、これまで奈良県明日香村、神奈川県真鶴町、群馬県嬬恋村などで地域診断を実施し、健康課題の抽出や対策の検討を行ってきた。また、全国の保健医療関係者や自治体関係者のほか、協会施設の研修医を対象に地域診断の指導者向けセミナーを開催してきた^{1)~2)}。

平成28年度は、5月13日(金)、14日(土)に「今こそ地域診断」として2日間のセミナーを開催した。その内容は、1日目は記述疫学の基礎と既存統計資料の活用(講師:当センターアドバイザー 柳川 洋)、2日目は特定健診データ等を用いた地域診断の進め方(講師:国立保健医療科学院 横山徹爾先生)であり、それぞれ講義と演習を行った。当月号と8月号の2回にわたり、各講師に執筆を依頼し、既存の統計資料やデータベースを用いた地域診断について紹介する。

地域診断

1. 地域診断の背景と目的

すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を目指す「21世紀の国民の健康づくり運動(健康日本21)」が発足したのが平成12年3月であった。その運動の基本方針として、①生活習慣の改善、②健康増進・生活習慣病予防、③壮年期死亡の減少、④健康寿命の延伸の4項目を掲げ、栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり、たばこ、アルコール、歯の健康、糖尿病、循環器病、がんの9分野について80項目(重複による再掲項目を除くと59項目になる)の指標を取り上げ、10年後の目標値を設定して健康づくり活動を実践してきた。11年経過した平成23年10月にこれらの指標の目標達成度を評価分析した結果、目標値に達した項目は16.9%に留まり、目標値に達していないが改善傾向にある項目(42.4%)を加えると、約60%になった。

厚生労働省は、これらの評価成績および社会情勢の変化を勘案して平成24年7月に、平成25年度から平成34年度までの健康づくり運動「健康日本21(第2次)」を策定した。新しい基本方針として、①健康寿命の延伸と健康格差の縮小、②生活習慣病の発症予防、重症化予防の徹底、③社会生活を営むために必要な機能の維持・向上、

表1 統計資料の検索窓口と総合的な統計資料

資料の名称		内容に関するコメント／ホームページ	更新年月
検索窓口	e-Stat 政府統計の総合窓口	[検索の例] 人口動態調査へのアクセス：人口・世帯→人口動態調査→[調査の概要、調査の結果、公表予定、問い合わせ先] http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do	随時更新
	厚生労働統計一覧	http://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/	
	厚生労働省の最近公表の統計資料	http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/	
総合的な統計資料	第65回日本統計年鑑 平成28年	わが国の国土、人口、経済、社会、文化などの幅広い分野にわたる基本的な統計データを網羅的かつ体系的に収録したもの。 http://www.stat.go.jp/data/nenkan/index2.htm	2015.11
	統計でみる都道府県のすがた2016	都道府県別に整備している基礎データの中から主要な項目を選定して取りまとめたもの。 http://www.stat.go.jp/data/k-sugata/index.htm http://www.stat.go.jp/data/shihyou/naiyou.htm	2016.2
	明日への統計2015	総務省統計局が実施している統計調査を中心に、調査のねらい・重点、調査に期待されるもの、調査結果の利用事例を紹介。 http://www.stat.go.jp/info/guide/asu/2015/index.htm	2015.6
	平成25年度我が国の保健統計(業務・加工統計)(3年ごと)	患者、医療施設、保健医療関係者、保健事業、国民医療費などの動向を示す加工統計。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/130-25.html	2014.5
	平成27年度厚生統計要覧	人口、人口動態、保健、医療、社会福祉、老人福祉などの統計資料を網羅。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/youran/index-kousei.html	2016.4
	平成27年度労働統計要覧	労働経済、労働力、雇用、労働時間、賃金、経営・生産性・福祉、労働災害・安全衛生などの資料を網羅。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/youran/index-roudou.html	2016.4

④健康を支え、守るための社会環境の整備、⑤生活習慣および社会環境の改善、の5項目を掲げ、ライフステージに応じて、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を実現し、社会保障制度が持続可能なものとなるよう、国民の健康の増進の総合的な推進を図ろうとしている。

多くの自治体は、「健康日本21(第2次)」を念頭に置きつつも、地域の特性に応じた独自の健康づくり活動を進めている。その際に地域の現状と課題を客観的な指標によって明確にし、活動の方向付けを行っているが、指標となる数値情報を集めるのに、多くの時間と労力を費やさなければならない。政府統計の総合窓口(以下e-Statと略)や関係府省のホームページを通して広い分野の統計資料が公表されているので、各自治体がこれらの情報を含めた統計資料をできるだけ効率的に検索し、適正な健康政策を策定するための基礎資料として活用していただくことを期待して、本稿を執筆することにした。

2. 統計資料検索の窓口と総合的な統計資料

表1は3つの検索窓口および総合的な統計資料を示す。e-Statは、各府省の統計情報を1ヵ所にまとめて提供するもので、総務省統計局にお

いて整備され、独立行政法人統計センターが運用している。

<http://www.stat.go.jp/index.htm>

e-Statの機能としては、①統計データを探す、②地図や図表で見る、③調査項目を調べる、などがある³⁾。

厚生労働統計一覧には、厚生労働省が実施している主な統計調査や業務統計の調査内容、調査対象、調査間隔、公表予定、実施担当部局および集計結果表などが含まれており、人口・世帯、保健衛生、社会福祉、老人保健福祉、社会保険、社会保障、雇用、賃金、労働時間、福利厚生、労使関係、労働災害・労働安全衛生、その他に分類して、掲載されている。厚生労働省の最近公表の統計資料は、年報、月報に分けて、公表日の新しい順に掲載されている。

総合的な統計資料は、複数の統計資料を要約して毎年公開しているもので、日本統計年鑑など6種類の資料を示した。

3. 人口統計、人口動態統計、生命表に関する統計資料

表2は人口統計および人口動態統計、生命表に関する統計を示す。人口統計は、地域保健医

表2 人口統計, 人口動態統計, 生命表に関する統計資料

		内容に関するコメント/ホームページ	更新年月
人口統計	人口推計(平成26年10月1日現在および各年の人口推計資料)	毎年10月1日現在の人口を推計 http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2014np/index.htm 人口推計要約(各年の人口推計資料) http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2.htm#annual	2015.4
	平成22年国勢調査	5年ごとに実施されている国勢調査の結果のうち, 市区町村別の人口, 世帯, 住居に関する結果および外国人, 高齢者世帯等に関する集計結果. http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm#a02	適時更新
	住民基本台帳人口移動報告 平成25年基本集計結果	都道府県, 市区町村間の人口移動, 転入転出の超過などの状況. http://www.stat.go.jp/data/idou/2015np/kihon/youyaku/index.htm	2016.1
人口動態統計	平成26年人口動態統計(確定数)の概況	1年間の出生, 死亡, 死産, 婚姻, 離婚の状況. 毎年概数が公表され, そのあとに確定数が公表される. http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei14/index.html	2015.9
	平成27年人口動態統計月報年計(概数)	1年間の出生, 死亡, 死産, 婚姻, 離婚の状況を示す資料 毎年6月に概数が公表され, 9月に確定数が公表される. http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai15/index.html	2016.5
	平成28年わが国の人口動態(平成26年までの動向)	人口, 人口動態に関する諸指標の年次推移および平成26年の要約を示す図および統計表 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/81-1a2.pdf	2016.2
	各年の人口動態調査報告書	平成9-25年の人口動態統計報告(報告書掲載分, 非掲載分を含む) 政府統計窓口 e-Statに掲載. http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001028897	適時更新
	2015年の人口動態統計年間推計	前年の人口動態統計速報(10月分まで)と人口動態統計月報(7月分まで)を用いて, 1年間の出生数, 死亡数, 婚姻件数, 離婚件数, 死産数, 3大死因別死亡数を推定 毎年1月1日付けで公表される. http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suikai15/index.html	2016.1
	平成22年都道府県年齢調整死亡率	平成2年以降, 昭和60年の人口構成を標準人口として国勢調査年の5年ごとに計算. http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/other/10sibou/	2012.3 (5年ごと)
生命表	平成26年簡易生命表の概況	各年齢の者が1年以内に死亡する確率, あと何年生きられるかという期待値を生命関数によって表示. http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life14/index.html	2015.7
	第21回生命表(完全生命表)の概況	5年ごとの国勢調査年の日本人人口, 人口動態統計の確定数に基づく完全生命表, 第21回は2010年のもの. http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/21th/index.html	2012.5 (5年ごと)
	平成22年都道府県別・市区町村別生命表	5年ごとの国勢調査年の日本人人口, 人口動態統計の確定数に基づいて計算 過去の完全生命表, 簡易生命表, 都道府県別生命表, 市区町村別生命表を含む. http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?toGL08020101_&tstatCode=000001031336&requestSender=dsearch	2013.2 2013.7 (5年ごと)

療に関する各種の統計資料を用いた指標の作成に欠かすことのできないものであり, 3種類の代表的な統計資料を示した。

人口動態統計は, 保健医療福祉活動のための地域診断に必ず取り上げなければならない重要な統計資料である。人口動態調査の確定数は翌年9月に公表されるが, 5月に月報年計(概数)がほとんど同じ形の製表で公表されるので, 確定数が公表される前には月報年計を参照すると良い。

生命表に関しては, 人口動態調査の死亡統計をベースにして毎年計算される簡易生命表と5年ごとの国勢調査年に計算される完全生命表がある。完全生命表が計算される年には, 都道府県別および市区町村別の平均寿命も計算される。

平均寿命は, その地域の健康水準を示す総合的な指標であると同時に他の地域, 他の年次との相互比較性を有する指標なので, 地域の健康水準を評価する上で欠かせない指標である。

4. 保健行政に関する統計資料

表3は保健行政に関する統計資料を示す。このうち地域保健・健康増進事業報告と特定健康診査・特定保健指導に関するデータは, 健康づくり事業や生活習慣病予防事業の計画づくりのための地域診断に有用な資料である。また, 衛生行政報告例は各種医療専門職の就業状況や衛生行政の実績を把握するのに役立つ資料である。そのほかに食中毒, 歯科疾患, 結核に関する資料も利用できる。

表3 保健行政に関する統計資料

資料の名称	内容に関するコメント／ホームページ	更新年月
平成26年度地域保健・健康増進事業報告	地域保健編、健康増進編からなる 地域保健編：母子保健、健康増進、歯科保健、精神保健福祉、衛生教育、エイズ、予防接種など。 健康増進編：健康手帳の交付、健康診査、歯周疾患・骨粗鬆症検診、健康教育、健康相談、機能訓練、訪問指導、がん検診、肝炎ウイルス検診など。 平成20年度より地域保健・老人保健事業報告から地域保健・健康増進事業報告と改められた。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/c-hoken/14/index.html	2016.3
平成25年度特定健康診査・特定保健指導に関するデータ	特定健康診査・特定保健指導の実施状況・メタボリックシンドロームの状況についての報告をまとめたもので、医療費適正化計画の策定に役立つ資料。 http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/info02a-2.html	2016.1
平成26年衛生行政報告例(一部の医療専門職)	就業している調理師、あん摩マッサージ指圧・きゅう・柔道整復、歯科衛生士・歯科技工士・歯科技工所、保健師・助産師・看護師など。 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_&listID=000001135697&requestSender=estat	2015.8 (隔年版)
平成26年度衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況	平成26年末における就業医療関係者(免許を取得している者のうち就業している者)などについて、各都道府県からの隔年(1年おき)の報告をもとに集計。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei/14/index.html	2015.7
平成26年度衛生行政報告例(衛生行政全般)	衛生関係諸法規の施行に伴う衛生行政の実態を把握するもの 精神保健福祉、栄養、衛生検査、生活衛生、食品衛生、乳肉衛生、医療、薬事、母体保護、特定疾患(難病)、狂犬病予防などを含む。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei_houkoku/14/index.html	2015.11
平成27年食中毒統計調査	食中毒発生の月別、原因食品別、原因物質別、施設別などの発生状況。 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/04.html	2016.3
平成23年歯科疾患実態調査	う歯と処置、歯肉、歯列・交合、フッ化物塗布、歯ブラシの使用など歯科保健の現状調査。 http://www.mhlw.go.jp/topics/2007/01/tp0129-1a.html#list01	2012.9 (6年ごと)
平成26年結核登録者情報調査年報集計結果(概況)	結核登録者について、新登録患者数、罹患率、登録患者数、有病率、死亡者数、死亡率などの資料。 http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou03/14.html	2015.7

表4 国民生活に関する統計資料

資料の名称	内容に関するコメント／ホームページ	更新年月
平成25年国民生活基礎調査の概況(大規模調査)	保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査(昭和61年に開始、3年ごとの大規模、中間年の簡易調査からなる。平成22年は大規模調査) ※過去の調査成績も含む。 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_&tstatCode=000001031016	2014.7 (大規模調査3年ごと)
平成26年国民生活基礎調査の概況(簡易調査)	中間年の簡易調査には、世帯の状況、所得の状況を含む。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa14/index.html	2015.7 (簡易調査中間年)
平成26年国民健康・栄養調査の概要	栄養素摂取状況、欠食・外食、身体状況、生活習慣およびこれらの項目の年次推移など363ページに及ぶ詳細な資料。 毎年実施している国民健康・栄養調査の結果は、概要(12月)と報告書(4月)に分けて公表。 http://www.koshu-eisei.net/upfile_free/20151210_8.pdf	2015.12
平成26年国民健康・栄養調査報告	栄養素摂取状況、欠食・外食、身体状況、生活習慣およびこれらの項目の年次推移など363ページに及ぶ詳細な資料。 毎年実施している国民健康・栄養調査の結果は、概要(12月)と報告書(4月)に分けて公表。 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_&tstatCode=000001041744	2016.4
第10回中高年者縦断調査	団塊の世代を含む全国の中高年者世代50～59歳の追跡調査。 平成17年度に始められたもので、対象者の介護、健康、就業の状況を調査。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/judan/chukou15/	2015.1

5. 国民生活に関する統計資料

表4に国民生活に関する統計資料を示した。この中で国民健康・栄養調査は、喫煙・飲酒・運動習慣などの生活習慣の状況、肥満、高血圧、

メタボリック症候群などの生活習慣病の発生に影響を及ぼすリスクの状況を示すもので、「健康日本21(第2次)」地方計画の策定と評価にぜひ参照したい資料である。

表5 医療・介護に関する統計資料

	資料の名称	内容に関するコメント／ホームページ	更新年月
医療	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査結果	医師、歯科医師および薬剤師について、性、年齢、業務の種類別、従事場所及び診療科名(薬剤師を除く)などを調査。 昭和57年までは毎年、同年以降は2年ごとに実施。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/14/index.html	2015.12 (2年ごと)
	医療保険データベース	医療機関受診の推定患者数、受療率、退院患者の平均在院日数などの資料調査は3年ごとに実施。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/14/index.html	2015.12 (3年ごと)
	平成26年医療施設動態調査・病院報告	医療施設調査：医療施設の分布、整備の実態を明らかにする静態調査と、毎月の開設・廃止などによる動態調査からなる。 病院報告：病院、療養病床を有する診療所における患者の利用状況及び従業者の状況を調査。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/14/index.html	2015.11
	平成26受療行動調査(確定数)の概況	医療機関利用患者の受療状況、受けた医療に対する満足度に関する調査。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jyuryo/14/index.html	2015.9 (3年ごと)
	平成25年度国民医療費の概況	国民医療費、国民所得、国民医療費の国民所得に対する比率およびこれらの指標の対前年比を含む。 http://www.koshu-eisei.net/upfile_free/20151029_3.pdf	2015.10
	医療保険データベース	医療保険・医療費に関する全般的な情報、制度別(被用者保険、国民健康保険、後期高齢者医療制度)情報、診療報酬関係の情報をまとめたデータベース。 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryohoken/databse/index.html	随時更新
	平成26年度医療費の動向	制度別、診療種類別、医療機関種類別、医療機関の種類別、都道府県別の概算医療費を調査。 http://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/14/dl/iryouhi_data.pdf	2015.9
	平成27年度後期高齢者医療制度被保険者実態調査	後期高齢者医療広域連合の保険賦課の状況および被保険者の年齢、所得の調査。 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_&tstatCode=000001044907	2016.3
	平成26年度後期高齢者医療事業状況報告	都道府県別被保険者の状況、医療費の状況、医療費の月別推移等の統計表のほか、後期高齢者医療制度の沿革、事業概況などの資料。 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001071798&cycode=0	2016.4
	平成26年度国民健康保険事業年報	国民健康保険の被保険者数、保険料賦課状況、給付状況、診療状況などの調査。 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_&tstatCode=000001082475	2016.3
介護	平成26年介護給付費実態調査の概況	介護給付費の受給者数、受給者1人当たり費用額、居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービスなどの状況。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kaigo/kyufu/14/index.html	2015.8
	平成26年介護サービス・施設・事業所調査結果	施設・事業所、介護保険施設、従事者の状況の集計。 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kaigo/service14/index.html	2015.10

6. 医療・介護に関する統計資料

表5に医療・介護に関する統計資料を示した。これらの資料のうち医療費に関するものは、地域の健康水準を経済的な側面から評価するのに役立つ資料であるが、地域の健康水準の向上が、直ちに医療費に影響を及ぼすとは限らないので、医療費の評価に当たっては、注意深い考察が必要である。

7. 市区町村別の統計資料

表6は市区町村単位で集計されている各種統計資料を集めたものである。市区町村が地域診

断を実施する場合、まず、既存の統計資料を参照していただき、その上で必要がある場合市区町村単位の独自の調査等により不足資料を補完する必要がある。

8. 政府統計調査に用いた調査様式

市区町村単位で独自の調査を計画する場合、調査結果を都道府県や国と比較ができる形で資料を収集する必要がある。例えば、生活習慣に関する質問票の作成に当たっては、質問票の文言、レイアウトを国または都道府県等が実施した調査と同じ形式にしたい。厚生労働省が実施

表6 市区町村別の統計資料		
資料の名称	内容の要約とリンク先	更新年月
国勢調査(5年ごと)	5年ごとに実施されている国勢調査の結果のうち、市区町村別の人口、世帯、住居に関する結果および外国人、高齢者世帯等に関する集計結果。 平成22年 http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm#a02 平成12年 http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm	随時更新
統計でみる市区町村のすがた2016	市区町村別に整備している基礎データの中から主要な項目を選定し、報告書として取りまとめたもの。 http://www.stat.go.jp/data/s-sugata/index.htm	2016.6
平成25年度医療費の地域差分析	都道府県、市町村単位で見た医療費の地域差を見たもの http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/hoken/iryomap/index.html	2015.9
平成26年度 地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)	健康増進法に基づく事業実績等がとりまとめられている。がん検診受診率、がん検診の結果、精検受診率、歯周疾患検診、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診、健康手帳・健康教育・健康相談・機能訓練・訪問指導の実績など有用である。 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103.&listID=000001130682&requestSender=dsearch	2016.3
平成26年度 地域保健・健康増進事業報告(地域保健編)	地域保健活動の実績等がとりまとめられている。乳幼児健診受診率・結果別人員、歯科検診・歯科予防処置、妊娠届出者数、妊産婦及び乳幼児訪問指導、保健指導、精神保健福祉相談、難病相談、予防接種、連絡調整会議、調査研究数、職員数などが有用である。 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001030884	2016.3
平成25年度 介護保険事業状況報告	介護保険事業の実施状況がとりまとめられている。被保険者数、要介護(要支援)認定者数、居宅介護(予防介護)等サービス受給者数、保険給付、保険料徴収額などが有用である。(保険者別資料) http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001134852	2015.6
平成26年度 国民健康保険事業年報	国民健康保険の事業状況がとりまとめられている。被保険者数、事務職員数、経理状況(保険料収入、保険給付費等)、医療給付の状況(療養費等)、高額療養費の状況、療養の給付等内訳(入院、入院外、歯科、調剤、訪問看護等)などが有用である。 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101.&tstatCode=000001082475&requestSender=search	2016.3
平成26年度 国民健康保険実態調査	国民健康保険における保険料と所得との相関関係、保険料賦課状況などがとりまとめられている。年齢階級別被保険者数、所得状況などが有用である。 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103.&listID=000001143861&requestSender=search	2016.2
平成20年～24年人口動態保健所・市区町村別統計の概況	人口動態統計として公表している各事象(出生、死亡、死産、婚姻及び離婚)について、保健所及び市区町村(区は特別区及び行政区として)ごとに国勢調査の年を中心とした5年間のデータを取りまとめている。 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103.&tclassID=000001052136&cycleCode=0&requestSender=search (参考: http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/other/hoken15/index.html)	2014.2
市町村別生命表の概況	ある期間における死亡状況(年齢別死亡率)が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の者が1年以内に死亡する確率や平均してあと何年生きられるかという期待値などを死亡率や平均余命などの指標(生命関数)によって表したものである。特に、0歳の平均余命である「平均寿命」は、死亡状況を集約したものとなっており、保健福祉水準を総合的に示す指標として広く活用されている。 平成22年 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/ckts10/index.html 平成17年 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/ckts05/index.html 平成12年 http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/ckts00/index.html (参考: http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/list54-57.html)	2013.7 2008.11 2004.11

している各種統計調査の調査票の様式については、すべてネット上に公開されているので、参考にしていただきたい。

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/chousahyo/>

ここからアクセスした平成27年国民健康・栄養調査の「生活習慣調査票」は、以下のアドレスから見る事ができる。

http://www.mhlw.go.jp/toukei/chousahyo/dl/h27_tyousahyou_seikatu.pdf

9. 「公衆衛生ねっと」による統計資料の検索

公益社団法人地域医療振興協会は「公衆衛生

ねっと」を通じて公衆衛生活動に役立つさまざまな情報を提供しているが、本稿に掲載した統計資料はすべて「公衆衛生ねっと」からもアクセスすることができる(図1)。

例えば、最近の国民健康・栄養調査を見たいときは、以下のステップで見ることができる。

①「公衆衛生ねっと」へのアクセス

<http://www.koshu-eisei.net/>

②「条件でNEWSを検索」を選択

検索したい統計資料の種類、公表時期に応じて、「分野・テーマ」「用途・種類」「期間」より適切な項目を選択



図1 「公衆衛生ねっと」webサイトのトップページ

- 検索の例「分野・テーマ」17栄養・食生活
- 「用途・種類」調査・統計資料
- 「期間」2015年～2016年
- ③検索結果を表示
- 3件表示され3件目の「平成26年国民健康・栄養調査の結果」を選択

だけで行うのではなく、地域の医療従事者や地域に暮らす住民自身も地域の健康課題に関心をもち、行政と一緒に、その課題解決に地域ぐるみで取り組むことが求められる。

まとめ

健康づくり活動に焦点を当てた地域診断に必要な統計資料の所在や内容について概観した。地域の健康づくり計画の策定と評価に役立てていただくことを期待している。地域診断は行政

参考文献

- 1) 嶋田雅子, 他:ヘルスプロモーション研究センターの活動紹介ー「今こそ地域診断」セミナー報告とともにー. 月刊地域医学 2015; 29(7):538-541.
- 2) 野藤 悠, 他:「地域診断ワークショップ」実施報告. 月刊地域医学 2016;30(4):290-292.
- 3) 若林チヒロ, 新村洋未, 安藤実里, 他:公衆衛生トピックス 第13回政府統計の総合窓口e-Statー地域診断への活用ー. 月刊地域医学 2015;29:126-130.